

2003 年度 委員会活動成果報告

(2003 年 3 月 29 日作成)

委員会名	工程計画管理小委員会	主 査 名：嘉納成男
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (建築生産運営委員会)	委員長名：嵩 英雄
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2003 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	「ネットワークによる工程の計画と管理」の指針・同解説は昭和 43 年 9 月に発刊され、工程に関する指針として大きな貢献を果たしてきた。しかし、発刊からすでに 35 年以上が経過しており、新しい工程の考えたかと計画・管理の手法を含めて、新しい指針として改定することを目的としている。 本年度は、その最終年度として、指針原稿の推敲および発刊、講習会の開催を行う計画とした。	
委員構成 (委員名 (所属))	嘉納成男 早稲田大学、安藤正雄 千葉大学、宮川和雄 大成建設、 湯浅洋一 竹中工務店、福士 正洋 大林組、松本 肇 鹿島、 奥地正敏 戸田建設、高橋寛之 佐藤工業	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2003 年度予算	30,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	本年度は、指針の原稿の推敲と印刷に向けた作業を行った。各執筆担当が原稿を推敲し、委員会にての打ち合わせとともに、EMAIL および郵送による検討作業を進めた。第 1 回 8 月 25 日 6 名、第 2 回 9 月 17 日 6 名、第 3 回 12 月 26 日 7 名、第 4 回 1 月 27 日 6 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 「建築工事における工程計画と管理」指針をまとめ、学会指針として発刊した。(2003 年 2 月)さらに、指針の発刊とともに、講習会を学会ホールにて開催(2003 年 2 月 24 日)し、指針の内容について詳細な解説を行った。 指針の目次は、下記の通りである。 1. 総則 2. 用語の説明 3. 工程の種類と表現方法 4. 工程計画と管理における関係者の役割 5. 工程計画の方法 6. 工程管理の方法 7. 工程計画と管理の手法
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 今回の指針は、建築プロジェクトにおける工程について、発注者、設計者、施工者、建築部材供給者など建築関係者それぞれの役割を明確にするとともに、工程計画と管理の方法および手法について、指針として纏めることが出来た。
その他評価すべき事項	特になし